

和歌山県の農林水産業の概要

特徴・取組

和歌山県は、紀伊半島の南西部にあって、北は大阪府、東は奈良県と三重県、南は熊野灘に接し、西は紀伊水道をはさんで徳島県と向かい合っている。面積の8割以上を山地が占め、平野はとても少なく、紀の川流域の和歌山平野と有田川や日高川の下流に小さな平野が広がっている。気候は、県北部が瀬戸内海式気候で、年間を通じて天気や湿度が安定しており、降水量も少ない。南部は太平洋岸式気候で、黒潮の影響を受け温暖で台風の影響を受けやすく極めて降水量の多い地域もある。また、日照時間が長く、夏は比較的涼しく、冬は暖かい傾向がみられる。

和歌山県の産業は、鉄鋼業を始め、化学や機械金属などの産業が盛んで、ニット、パイル等の繊維や皮革等の素材関連産業、漆器、家庭用品、家具、建具等の生活関連産業等が集積し、数多くの産地が形成されている。本県の産業構造は、製造品出荷額等について基礎素材型（鉄鋼、石油、化学等）の構成割合が高く、加工組立型（輸送機械・電気機械等）の構成割合が低い。主な産業は和歌山市を中心とする北部地域に集中している。

農業は、紀北地域のかき、もも、紀中地域のみかん、紀中・紀南地域のうめなど県内全域で果樹栽培が盛ん。果樹の生産は産出額や栽培面積において県全体の6割以上を占め、本県農業の基幹作物となっている。
林業は、古くから「紀州・木の国」と呼ばれ、すぎ、ひのきなどの優良材の生産県として全国に知られている。また、白炭（紀州備長炭）は全国有数の生産量を誇る。

水産業は、内海性の瀬戸内海と外洋性の太平洋に二分され、それぞれの海域特性に応じて各種漁業が営まれている。内水面では紀の川、有田川、日高川及び富田川周辺地区で、清流の伏流水を利用したあゆの養殖業が営まれている。

和歌山県では、令和6年度の重点施策として、農林水産業の担い手確保・育成、生産性向上、販路開拓、スマート化などによる第一次産業の活性化を図ることとしている。主な新規事業は、有害鳥獣の新たな捕獲手法を普及するため、県が開発したもぐり込み式等のわなによるシカの捕獲実証を行うほか、林道整備では紀州材の「切出し・運搬」にかかるコストの低減を図るため、市町村による林道整備を支援（拡充）するなど、県内林道網の整備を推進することとしている。また、農業の担い手対策としては、国の支援の対象とならない50～60歳までの新規就農者等に対し、就農後の資金を支援する。

主な農林水産物

みかん

収穫量は19年連続日本で全国の約2割を占める。有田地方のみかんは有田みかんとして有名。
（収穫量全国1位）



うめ

みなべ町、田辺市を中心に栽培され、収穫量は全国の約6割を占める。主な品種は、南高、古城等。
（収穫量全国1位）



かき

紀北地域を中心に栽培され、収穫量は全国の2割を占める。主な品種は、刀根早生等の渋柿が8割を占める。
（収穫量全国1位）



ハッサク（八朔）

紀北地域を中心に栽培され、収穫量は全国の7割を占める。
（収穫量全国1位）



スターチス

紀中地域を中心に栽培され、出荷量は全国の約5割を占める。近年、作付面積が増加している主力花き。
（出荷量全国1位）



グリーンピース

紀中地域を中心に栽培され、収穫量は全国の約4割を占める。主な品種は、うすいえんどう。
（収穫量全国1位）



くろまぐろ

平成14年、串本町で世界で初めてくろまぐろの完全養殖に成功。収穫量は全国の約1割を占める。
（収穫量全国6位）



いせえび

熊野灘を中心に漁獲され、漁獲量は全国の1割を占める。
（漁獲量全国3位）



あゆ

県内各地で養殖され、収穫量は全国の約2割を占める。
（収穫量全国3位）



白炭

紀中地域を中心に生産され、生産量は全国の約3割を占める。白炭は紀州備長炭として知られている。
（生産量全国2位）



和歌山県内の各地域における農林水産物

紀中地域

【農畜産物】みかん、うめ、グリーンピース、ハッサク（八朔）、キヨミ（清見）（かんきつ類）、シラヌヒ（デコポン）、セミノール（かんきつ類）、サンショウ、すいか、トマト、きゅうり、スターチス、宿根かすみそう、ブロイラー

【林産物】白炭、木・竹酢液

【水産物】いわし、あじ、たちうお、あゆ

紀南地域

【農畜産物】うめ、みかん、すもも、シラヌヒ（デコポン）、じゃばら、茶、ガーベラ、乳用牛

【林産物】すぎ、ひのき、生しいたけ

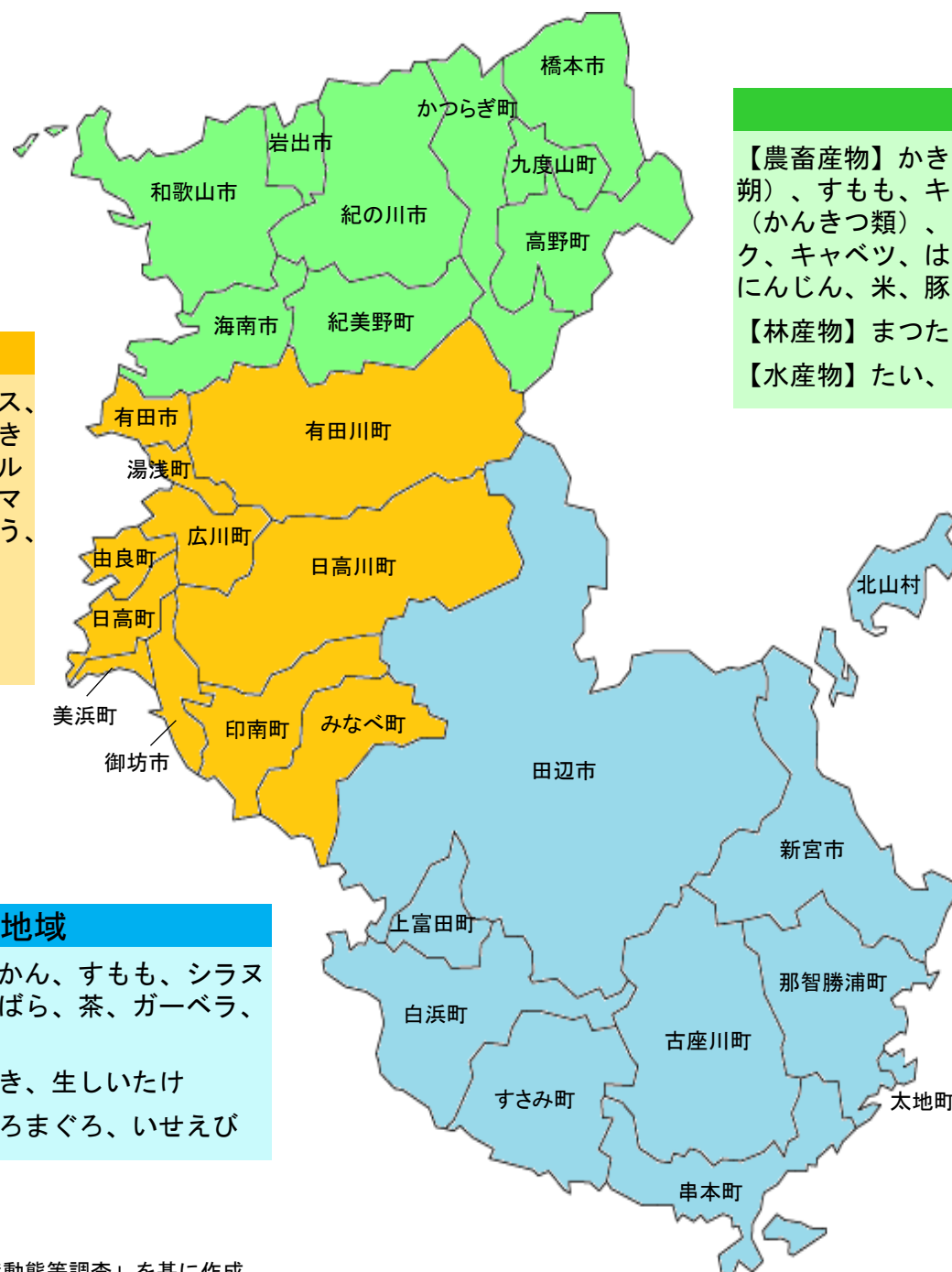
【水産物】かつお、くろまぐろ、いせえび

紀北地域

【農畜産物】かき、みかん、もも、ハッサク（八朔）、すもも、キウイフルーツ、キヨミ（清見）（かんきつ類）、シラヌヒ（デコポン）、イチジク、キャベツ、はくさい、たまねぎ、だいこん、にんじん、米、豚、採卵鶏

【林産物】まつたけ

【水産物】たい、あゆ



和歌山県の農業（１）

- ・耕地面積は3万1,000haで全国38位。うち田が8,970ha、畑が2万2,000ha。
- ・農業経営体数は1万8,141経営体で全国28位。うち法人経営体が154経営体で44位。
- ・認定農業者数は2,275経営体で全国30位。うち法人数が101法人で45位。

耕地面積

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
耕地面積	31,000 ha	4,297,000 ha	38
田	8,970 ha	2,335,000 ha	42
畑	22,000 ha	1,962,000 ha	21
普通畑	2,210 ha	1,120,000 ha	44
樹園地	19,700 ha	253,500 ha	3
牧草地	31 ha	589,000 ha	43
参考）総土地面積	472,469 ha	37,797,539 ha	30

出典：「令和5年耕地面積（7月15日現在）」、「令和6年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」（国土交通省国土地理院）

荒廃農地面積

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	3,271 ha	253,217 ha	29

出典：「令和4年度の荒廃農地面積（令和5年3月31日現在）」

担い手への農地の集積状況

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	9,623 ha	2,573,672 ha	37
集積率	30.7 %	59.5 %	35

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料（令和4年度版）」

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和6年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの（例：0.4t→0t）

「－」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「＊」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
農業経営体数	18,141 経営体	1,075,705 経営体	28
法人経営体	154 経営体	30,707 経営体	44
総農家数	25,263 戸	1,747,079 戸	33
販売農家	17,250 戸	1,027,892 戸	29
参考）世帯総数	394,483 世帯	55,830,154 世帯	39
集落営農数	8 集落営農	14,204 集落営農	42

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）、「令和5年集落営農実態調査（令和5年2月1日現在）」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	27,202 人	1,363,038 人	24
男	15,150 人	822,144 人	24
女	12,052 人	540,894 人	20
65歳以上	17,394 人	948,621 人	25
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	63.9 %	69.6 %	－
認定農業者数	2,275 経営体	219,846 経営体	30
法人数	101 法人	28,720 法人	45
参考）総人口数	922,584 人	126,146,099 人	40

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「認定農業者の認定状況（令和5年3月末現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

和歌山県の農業（ 2 ）

- ・農業産出額は1,108億円で全国30位。うち野菜が132億円（11.9%）、果実が752億円（67.9%）、畜産が38億円（3.4%）。
- ・農畜産物の生産状況は、みかん、うめ、かき、グリーンピース、スターチス（切り花類）、イチジク、セミノール（かんきつ類）等が全国1位。
- ・農業生産関連事業は、農産加工の年間販売（売上）金額が212億円で全国18位、事業体数は980事業体で6位。

農業産出額

区 分	和歌山県	全国	全国順位
農業産出額	1,108 億円 (100.0)	90,015 億円 (100.0)	30
米	69 億円 (6.2)	13,946 億円 (15.5)	42
麦類	x 億円	647 億円	- *
雑穀	0 億円	83 億円	44
豆類	0 億円	715 億円	44
いも類	2 億円	2,199 億円	47
野菜	132 億円 (11.9)	22,298 億円 (24.8)	39
果実	752 億円 (67.9)	9,232 億円 (10.3)	5
花き	64 億円	3,493 億円	18
工芸農作物	7 億円	1,551 億円	18
その他作物	x 億円	607 億円	- *
畜産	38 億円 (3.4)	34,678 億円 (38.5)	45
肉用牛	9 億円	8,257 億円	44
乳用牛	6 億円	9,013 億円	47
生乳	6 億円	7,916 億円	47
豚	2 億円	6,713 億円	45
鶏	16 億円	9,716 億円	43
鶏卵	10 億円	5,638 億円	44
ブロイラー	6 億円	3,940 億円	35 *
その他畜産物	5 億円	979 億円	12
加工農産物	17 億円	565 億円	8

出典：「令和4年生産農業所得統計」

注：()は農業産出額を100%とした割合である。

農畜産物の生産状況

区 分		年次	和 歌 山 県	全 国	全国順位
グリーンピース	収穫量	R4	2,070 t	4,900 t	1
みかん	収穫量	R5	143,900 t	681,600 t	1
うめ	収穫量	R5	61,000 t	95,500 t	1
かき	収穫量	R5	38,900 t	186,600 t	1
スターチス（切り花類）	出荷量	R4	62,900 千本	116,100 千本	1
イチジク	収穫量	R3	1,844 t	10,143 t	1
セミノール（かんきつ類）	収穫量	R3	1,352 t	2,518 t	1
キヨミ（清見）	収穫量	R3	5,154 t	11,282 t	1
八朔	収穫量	R3	17,687 t	24,485 t	1
サンショウ	収穫量	R3	283 t	503 t	1

出典：「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	和歌山県	全国	全国順位
農産加工	総額 21,235 百万円 事業体数 980 事業体	1,012,818 百万円 28,980 事業体	18 6
農産物直売所	総額 16,758 百万円 事業体数 200 事業体	1,087,897 百万円 22,380 事業体	28 37
観光農園	総額 249 百万円 経営体数 60 経営体	35,999 百万円 5,090 経営体	34 22
農家民宿	総額 39 百万円 経営体数 10 経営体	4,565 百万円 1,170 経営体	24 * 27 *
農家レストラン	総額 329 百万円 事業体数 10 事業体	35,236 百万円 1,330 事業体	35 * 38 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

和歌山県の林業

- ・林業産出額は48.1億円で全国30位。うち木材生産が22.9億円、栽培きのこ類生産が16.3億円。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が全国27位、白炭が全国2位、なめこが15位。

林業産出額

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
林業産出額	48.1 億円	5,806.6 億円	30
木材生産	22.9 億円	3,604.6 億円	28 *
栽培きのこ類生産	16.3 億円	2,079.5 億円	25

出典：「令和4年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
素材生産量	188 千m ³	22,082 千m ³	27 *
針葉樹	188 千m ³	20,386 千m ³	27
すぎ	124 千m ³	13,238 千m ³	27
ひのき	63 千m ³	2,971 千m ³	18
広葉樹	- 千m ³	1,696 千m ³	- *
白炭	生産量 916 t	2,810 t	2 *
なめこ	生産量 132 t	23,738 t	15 *
生しいたけ	生産量 1,070 t	69,532 t	20
たけのこ	生産量 66 t	21,798 t	24

出典：「令和4年木材需給報告書」、「令和4年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
林野面積	360,130 ha	24,770,201 ha	25
国有林	16,470 ha	7,153,338 ha	35
民有林	343,660 ha	17,616,863 ha	21
人工林面積	219,472 ha	10,133,111 ha	17

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
工場数	91 工場	3,804 工場	17
製材用素材の入荷があった工場数	91 工場	3,778 工場	17
国産材のみ	78 工場	3,054 工場	16
国産材と輸入材	- 工場	560 工場	-

出典：「令和4年木材需給報告書」

林業経営体数

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
林業経営体数	340 経営体	34,001 経営体	35
法人経営体	57 経営体	4,093 経営体	30

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

和歌山の漁業

- ・漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は147億円で全国25位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業のいせえびが全国3位、海面養殖業のまだい、くろまぐろが6位、内水面養殖業のあゆが3位。
- ・漁業生産関連事業は、水産物直売所の年間販売（売上）金額が26億円で全国2位、事業体数は10事業体で19位。

漁業産出額

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	147 億円	14,372 億円	25

出典：「令和4年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	1,581 経営体	79,067 経営体	21
内水面漁業経営体数	18 経営体	4,772 経営体	42

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

漁業就業者数

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	2,402 人	151,701 人	23
男	2,293 人	134,186 人	22
女	109 人	17,515 人	24

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

漁船隻数

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
漁船隻数	2,327 隻	132,201 隻	23
動力漁船	1,653 隻	69,920 隻	18

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

水産物の生産状況

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	18,434 t	3,862,831 t	33 *
海面漁業漁獲量	14,536 t	2,950,992 t	29
いせえび	112 t	1,115 t	3
海面養殖業収穫量	3,898 t	911,839 t	23 *
まだい	2,349 t	68,088 t	6 *
くろまぐろ	1,320 t	20,526 t	6 *
内水面漁業・養殖業生産量	618 t	54,115 t	15 *
内水面漁業漁獲量	10 t	22,612 t	32
その他のさけ・ます類	1 t	150 t	11
内水面養殖業収穫量	608 t	31,503 t	11 *
あゆ	591 t	3,683 t	3 *

出典：「令和4年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
水産加工	総額 2,557 百万円 事業体数 10 事業体	181,820 百万円 1,460 事業体	18 * 26 *
水産物直売所	総額 2,564 百万円 事業体数 10 事業体	37,410 百万円 840 事業体	2 * 19 *
漁家民宿	総額 81 百万円 経営体数 10 経営体	5,986 百万円 740 経営体	17 * 15 *
漁家レストラン	総額 765 百万円 事業体数 10 事業体	11,598 百万円 420 事業体	7 * 9 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

和歌山県の農林水産業の話題等（１）

「あら川の桃」が地理的表示（GI）に登録

令和５年７月、「あら川の桃」が地理的表示（GI：Geographical Indication）保護制度に登録された。和歌山県内の農産物では令和３年５月に登録された「わかやま布引だいこん」に次ぐもので、果物では初めての登録となる。

「あら川の桃」は、江戸時代から栽培が行われ、西日本最大の生産を誇る紀の川市桃山町を主産地とする「ブランド桃」で、長年、生産地で培われた栽培技術により、色味や玉揃い等の外観に優れ、食味が良好であることが特徴。

卸売市場では他産地に比べ高価格で取引されており、百貨店等ではお中元などの贈答用として引き合いが強い。

生産地では、「桃」の開花期になると桃源郷を思わせる絶景が広がり、出荷期には「あら川の桃」を少しでも安く手に入れようと多くの消費者が訪れる。



あら川の桃

「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」の選定

平成11年７月、「日本の棚田百選」として全国134地域（県内は１地域）を認定後、20年以上が経過。担い手の減少等により荒廃が進む棚田地域の振興を図るため、改めて棚田地域の振興に関する取組を積極的に評価し、農林水産大臣が優良な棚田を認定する取組「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～（ポスト棚田百選）」が行われ、令和４年２月、全国で271地域、県内では８地域の棚田が「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に選定。

【県内選定地域】

紀美野町（①中田の棚田）、橋本市（②芋谷の棚田）、有田川町（③上湯・あらぎ島、④沼の棚田・段々畑、⑤久野原の棚田、⑥沼谷「天空の棚田」、⑦杉野原の棚田）、那智勝浦町（⑧色川の棚田群）

また、令和５年２月、棚田地域における多様な主体との連携や協力を促進することを目的として、棚田地域の振興等に貢献する企業・大学等の取組を評価し、優れた取組を実施する企業等として和歌山県の推薦に基づき、県内では和歌山大学観光学部「棚田ふぁむ」と一般社団法人全国農協観光協会に感謝状を贈呈。



和歌山県の農林水産業の話題等（２）

令和５年度世界農業遺産への認定申請

令和５年１月、和歌山県「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」（海南市、有田市、湯浅町、広川町、有田川町）が世界農業遺産への認定申請に係る承認地域として決定され、令和５年１０月、国際連合食糧農業機関（ＦＡＯ）に世界農業遺産認定申請書を提出。今後、ＦＡＯによる書類審査、現地調査を経て認定の可否が決まる予定。

【農業システムの概要】

長峰山脈を挟んで隣接する有田地域・下津地域は、４００年以上前から農家が海岸部から内陸部の山頂付近まで壮大な石積み階段園を築き上げ、優良品種系統の導入による産地の形成、多様な地勢・地質に適応した栽培技術や独自の貯蔵技術（蔵出し）により、高品質な温州みかんを生産し、７か月に及ぶ長期リレー出荷を可能とした。２つの日本農業遺産認定地域（海南市下津地域の「下津蔵出しみかんシステム」と有田地域の「みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム」）が融合した伝統的農業システム。

有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム



日本一の生産量を誇る有田地域の
みかん産地



下津地域のみかん産地
園内に設置した蔵で貯蔵し、糖酸
バランスを整えて年明けに出荷。

みかんの産出額 ８年連続日本一

和歌山県では、平成２７年度からＪＡグループと連携し、温州みかんの市場評価を高めるため、糖度選別が可能な光センサー選果機を利用して厳選したみかんを市場に出荷する「みかんの厳選出荷」に取り組んでいる。

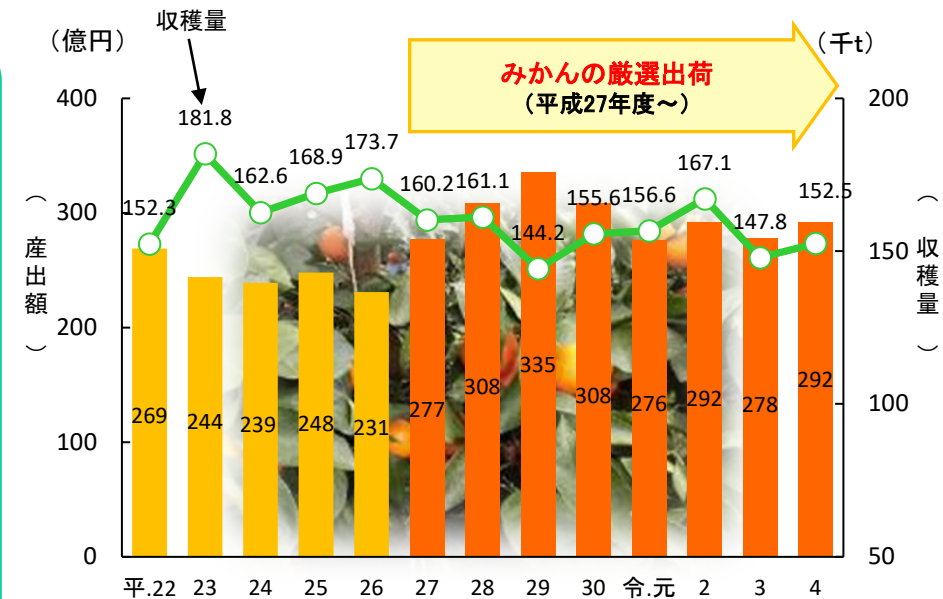
令和４年産みかんは、着花数が表年で多く、収穫量がやや増加したことに加え、厳選出荷が徹底された結果、販売単価は上昇し、みかんの産出額は平成２７年から８年連続で日本一となった。

今後も、和歌山県は厳選出荷の徹底に加え、優良品種への改植、天候に左右されず高品質みかんの生産が可能なマルチ栽培の推進等により、販売単価の向上を図りながら、産出額１位を維持していくこととしている。

みかんの収穫量は、平成１６年産以降、１９年連続日本一を維持している。

（参考）令和４年産みかんの収穫量上位３県

①和歌山県 １５２,５００ｔ、②愛媛県 １０９,３００ｔ、③静岡県 １０３,０００ｔ



みかん産出額と収穫量の推移（和歌山県）